

鶴岡市障害者地域自立支援協議会だより

個別支援会議を開催しています！！

サービス担当者会議とはちがうもの？

鶴岡市障害者地域自立支援協議会では、4つの部会活動とあわせて個別支援会議を大きな柱として活動しています。昨年度は194件（障害者相談支援センター分のみ集計）開催されました。

個別支援会議では、具体的にどんな話し合いが行われているのでしょうか？

とある日の個別支援会議

その①

精神科病院に入院している方に対する退院後の日中活動調整・将来的な生活場面の設定について、主治医はじめコメディカルスタッフ・生活介護事業所・行政での検討を行いました。医療と福祉の連携を図る時間となりました。（参加人数13名）

とある日の個別支援会議

その②

強度行動障害の状態にある方に対する関わり方・家族支援について、事業所より事例提供いただき、特別支援学校時代の担任や長年障害者支援に携わって

いた方をスーパーバイザーとして迎え検討を行いました。助言を頂きながらサビ管・相談支援専門員相互が日々の関わりを振り返る機会となりました。（参加人数10名）

会議の参集については相談支援事業所に限らず、本人・家族・関わる支援者からの発信から始まります。調整は相談支援事業所がする場面が多いですが、より多くの支援者からの情報や意見・支援協力をいただくことでより良い生活支援に繋がることを期待するものです。

これまでも多くの皆様から参画いただき、関係機関相互のネットワークを活かした個別課題の協議、対応を続けています。

今後も多くのケース支援を通じて皆様と更なる連携や地域課題の抽出など、鶴岡のこれらについて同じ方向に向かって協議できればと考えています。



ある個別支援会議の様子。ご家族、病院、生活介護事業所、訪問入浴事業所、訪問介護事業所、相談支援事業所の各担当者が出席。

サービス担当者会議と個別支援会議の違いって??

サービス担当者会議（サービス調整会議と称す場合も）

主に障害福祉サービスの利用（新規・モニタリング・計画変更等）について、本人・家族・関係機関が集まり利用状況や今後の支援方針を共有するものです。必要に応じ医療機関や教育機関、行政も参画します。相談支援事業所が参集を呼び掛け、進めることが多い会議です。

個別支援会議

サービス担当者会議と重複することもあります。大きな違いは、サービスの調整に限定されないことです。金銭管理・権利擁護に関する検討、医療や司法との調整事項、多問題を抱える世帯への支援策検討、一事業所で抱えきれない事例への対応協議など、個別のみならず、地域課題として協議する案件を含んでいることが特徴として挙げられます。そのため、開催当初はサービス担当者会議の予定であったが、話を進めるうちに個別支援会議になっていたということもしばしばあります。それだけサービス提供に関わっている支援者の気づきやアプローチから、本人だけでなく取り巻く様々な環境因子と向き合う機会も多くなるということではないでしょうか。





イベント・研修会 等のお知らせ

■ 発達障害部会

「発達障害のある方の就労支援 研修会」

特徴や支援方法を学び、企業
の理解をすすめる機会です。

○日時：8月23日（火）14：
00～17：00

○場所：にこふる3階大会議室

○対象：一般企業、障害福祉サ
ービス事業所、高等学校、特別
支援学校、関心のある方

○内容：精神科医師による特性
と支援のポイント解説、障害者
職業カウンセラーによる就労支
援事例紹介

■ こども部会

町内会長と家族をつなぐ講話会

障害のあるお子さんのことや家
族が抱えていることなどを知って
いただき、ご家族と交流を持つこ
とで障害の理解を深める機会を設
けました。

○日時：9月2日（金）10：00～
11：30

○場所：にこふる3階大会議室

家族会登録について

ぜひご登録ください。

鶴岡市では市内を中心に活動
する障害者やご家族などの団体
の連携を図るとともに、福祉向
上を目指すため、障害者団体・
親の会の登録を行います。

登録することで

◇鶴岡市内公共施設の会場利用
減免（一部減免含む）

◇障害者団体一覧（作成予定）
への掲載

◇リーフレットの設置場所の提
供（市役所福祉課や障害者相談
支援センター等）

◇関係機関・団体との情報交換
会等の開催案内

といったメリットがあります。

登録を希望される方は、申込
書に必要事項を記入の上、鶴
岡市役所 福祉課 障害福祉係、
または鶴岡市障害者相談支援
センターへご提出ください。
（メール・FAX 可）

※申込書は鶴岡市のホームペー
ジにあります。

全体会・自立支援協議会の活動報告

より理解を深めるために・・・

平成27年度の自立支援協
議会の活動報告を4月18日
～20日の3日間全体会とし
て開催しました。対象は、障
害福祉サービス事業所及び施
設入所支援の支援者です。こ
れまでは、自立支援協議会の
運営委員会にて報告していた
ところ、協議会を理解するた
めに「直接支援をしている支
援者に報告してはどうか」と
の運営委員のご意見により、
支援者全員を対象としたもの

で、延べ99名が出席しました。

全体会では、報告の他に障害
福祉サービス等に関する支給決
定ガイドラインを福祉課職員よ
り説明をしました。参加者から
は、ライフステージの中での事
業変更についての質問がありま
した。また、全体会終了後にガ
イドラインを熟読した支援者の
質問もあり、各事業所職員によ
るサービスの支給決定の理解を
深めるきっかけとなりました。

発達障害と子供たちの状況について

市民生児童委員協議会連合会の児童健全育成部会研修会

7月19日、市民生児童委
員協議会連合会の児童健全育
成部会研修会にて、発達障害
部会の白幡康則部会長が「発
達障害と子供たちの状況につ
いて」と題した講演を行いました。
この日は主任児童委員
を中心に約50名が参加。講
演では、発達障害の種別や発
達障害のある児童に見られる

脳機能の特徴、周囲の理解不足
によって引き起こされる二次障
害の危険性などを説明した後、
事例を紹介しながら二次障害を
予防するための環境づくりの大
切さについて理解を深めました。
参加者全員が終始真剣な眼差し
で講演に耳を傾けくださり、発
達障害に対する地域の理解が一
歩前進した日となりました。

部会活動報告

それぞれの課題に対する 様々な取組み

相談支援部会

28年度は、課題ごとに3つのプロジェクトで活動しています。

共通テーマは、「連携」です。それぞれ①介護保険分野との連携、②医療・療育分野との連携、③権利擁護分野との連携について活動しています。

介護保険への移行や、医療機関への情報提供時に活用できるツールの作成等、各分野との連携がよりスムーズに図れるような検討をおこなっています。

また、成年後見制度について理解を深めるための研修会を開催する等、障害児者のより豊かな生活に向けて奮闘中です。

しごと部会

今年度は、顔の見える関係づくりを土台とし、福祉・企業・教育の領域を超えて障害のある方の就労支援・定着支援、工賃アップに向けた仕組みづくりを

鶴岡市障害者地域自立支援協議会では、障害福祉分野の課題について、専門的に対策を協議するため、4つの専門部会を設置しています。今回は、今年度の活動目標と活動状況についてお知らせします。

目指して活動しています。

具体的には、先に行った事業所アンケートを基に、企業との顔繋ぎからの仕事受注や障害理解の啓発、卒後の進路や日中活動を調整する際の検討材料づくり等、各事業所のウリを活かした仕事づくり・人づくりを進めていきます。そしてライフステージ毎の目に見える就労支援チャートの作成を検討します。

発達障害部会

発達障害部会では、これまで教育・医療・福祉・就労支援の関係機関や当事者団体の方々から発達障害を取り巻く現状と課題、必要な資源についての意見をお聞きする場づくりに力を入れてきました。

今年度はそれらの意見を踏まえながら、「繋ぎ先・窓口」「障害受容と自己理解」「親支援」をキーワードに各種研修会や先進地視察、調査活動を行う予定としています。とくに、幼

児期から青壮年期までの支援を見える化し、ライフステージ全体を通して一貫した支援が行える体制やネットワークのあり方について協議を深めていきます。

こども部会

こども部会では、障害のあるお子さんの生活や家族が抱えている思い等を地域住民に広く知って頂くための啓発活動、関係者への研修会や情報交換会の開催、社会資源を知ってもらうためのリーフレットや冊子の作成等の活動を行っています。

今年度の活動予定は、①町内会長と家族をつなぐ講話会、②情報交換会（仮「災害時の現状と課題」）、③②を踏まえた対応フロー（仮）の冊子化で、更に啓発活動を推進させるとともに、危惧される災害時の対応について話し合っています。



7月21日、相談支援部会「成年後見制度に関する研修会」の様子。社協の生活支援課職員を講師に迎え、申立て手続き、対象者像について学びました。



6月28日、しごと部会のグループワークの様子。工賃アップを目指し、「仕事づくり」に向けた話し合いを行いました。

<第1回>

想いをつなぐ！

日々の事業所展開で思うこと、部会・個別支援会議に参加して感じたこと、今後活かしていきたいこと等を寄せていただくコーナーです。

真夏の椎茸管理、収穫真っ盛り
の外内島キュウリ。忙しい割には
収入が…

第1回しごと部会では農業分野
でできること、既に取り組んでいる
という事業所が多く農福連携を
感じた。しかし鶴岡は事業所単位
での取り組みで終わっている。『農
福（医）工商連携』でなければ工
賃給与UPには繋がらない。官も
加わりシステム化している県もあ



しいたけ栽培の様子

リレートーク

株式会社羽黒山ぶしいたけファーム
サービス管理責任者
鈴木 渉さん

る。農福だけではなく「工商」が
加わり6次産業化に発展し工賃
UPと地域貢献に繋がる。待って
いても動かない。私達が動かす。
そして本当の農福連携ができれば
と願う。

しごと部会はそうした取組み
もできる部会であればと願う。

更に本業である支援レベル向
上の為、意見交換に留まらない結
果の出せるケース検討会ができれば
と思う今日この頃です。

[就労継続支援(A型)事業所]

株式会社羽黒山ぶしいたけファーム
〒997-0333
鶴岡市常盤木字木原 8-14
TEL 0235-57-4766



山ぶしいたけファームの製品



山ぶしいたけファームでの農作業の様子

種を後世に「農福連携」

鶴岡の就労支援事業所 外内島きゅうり栽培担う



使命感持って地域貢献

農業の就労支援に切り組む山ぶしいたけファーム（鶴岡市常盤木）が、高産化など生産者が悩んでいる在外作物・外内島きゅうりの栽培に担い組んでいる。産地支援所長は「農福連携」で農産を盛り上げていきたい。利用者には豊かな産地を誇りを持って作業してほしい。社会貢献したいという思いもあれば、自立への一歩として取り組むことだ。

荘内日報に取り上げられましたっ！

編

集

後

記

今年度第1号が生まれました。協議会が発足して5年、部会活動では関係機関同士のネットワークで支援の輪を広げ、個別支援では本人を中心に支援を深め合う機会がどんどん増えていること嬉しく思っています。

今後事務局発信に留まらず、各事業所での取組み・地域との関わり、支援者の想い等を広く多くの地域にも発信することを通じ、目に留めて頂きたいと考えております。是非とも皆さんの想いをお寄せください！！

本人・支援者・地域が“顔の見える関係”から“腹の分かり合える関係”へ、そして“腕の出し合える関係”へ繋がることを願って。

編集者 YDK